

「伊丹市における 障害児タイムケア事業の取り組みについて」

平成17年12月10日(土)

吹田市障害者支援交流センター
あいほうぷ吹田
障害児の豊かな放課後を実現させる会

(有)しえあーど
(特)地域生活を考えよーかい
李 国本 修慈

～伊丹市でのモデル事業から、今後の課題について～

1. タイムケア事業開始までの経緯
2. タイムケア事業の実績内容
3. 今後のタイムケアについて
4. その他

タイムケア事業の開始まで

伊丹市=伊丹市は兵庫県南東部に位置し、周囲を兵庫県尼崎・西宮・宝塚・川西各市、大阪府豊中・池田両市と接しています。

大阪市からは約10kmと近く、大阪の衛星都市の一つとも位置づけられます。地形は全体に平坦で、市の東端を猪名川、西端を武庫川が流れています。

人口は73,913世帯193,363人 (平成16年12月現在)です。

(伊丹市ホームページより)

身体障害者数 4,709人、内、59.1%は65歳以上の高齢者
(平成16年度調査)

知的障害者数 611人、内、在宅者521人、施設入所者90人
(平成16年度調査)

精神障害者数 535人(精神障害保健福祉手帳発行者数)
(平成16年度調査)

伊丹市のこれまでの障害児活動支援について

市内に養護学校は二校

伊丹市立伊丹養護学校・・・肢体不自由児

小学部5名、中学部4名、高等部5名、計14名

兵庫県立こやの里養護学校・・・知的障害児

小学部・中学部・高等部(各人数把握できず)合計で約130名位?

地域17小学校8中学校・・・肢体・知的・難聴・弱視・病弱児142名

障害児童の利用サービス

就学前

知的障害児通園施設	つつじ園	29人(定員30人)
肢体不自由児通園施設	きぼう園	35人(定員40人)

居宅介護(支援費制度/平成16年度)

身体	40人	2,907回	6,140時間
家事	3人	164回	251時間
移動(介護なし)	32人	878回	2,508時間
移動(介護あり)	51人	2,914回	10,216時間
短期入所	29人		868日

児童くらぶ(小学生) 19人

タイムケア事業...平成16年にモデル事業として予算化 = 107億円(資料1)

平成17年度3月 全国課長会議資料による実施内容案(資料2)

目的としての 1. 放課後の活動保障 2. 家人の就労支援 3. レスパイト

実施主体として「市長村」 委託先として「社会福祉法人等」

対象が、「中高生等」

事業内容が、「デイ・サービス事業所や空き教室・店舗等」

概ね3時間以上 当然ながら、ホームヘルプとの同時利用は不可
送迎も、必要に応じて行う

地域のニーズに合わせた日時で行う(月～金のみでは事業対象外)

設備・定員・職員配置は、市町村の判断で

利用料 1回につき1000円

国が(正確には国は)、市町村の経費の1/2を負担できる

	年間利用回数	国費
A型	5000回以上	750万円
B型	3500回以上	525万円
C型	3000回以上	450万円
D型	2000回以上	300万円

補助単価は、1回あたり、3000円程度 (資料3などから)

創設前の不安点など

<それまでは>

伊丹市では、放課後活動的なモノはなかった

近隣市では、

みっくす 神戸市障害児・者の放課後を考える会

<http://www5.ocn.ne.jp/~mixkoube/>

神戸市障害児の放課後を考える会 くれよん

拓人こうべ よりみちくらぶ～障害を持つ子どもの支援事業～
宝塚養護学校内 「ひだまり」

他府県事業としては

熊本県 障害児家族あんしんサービス事業

和歌山県 障害児夏休み支援事業

富山県 障害児放課後元気わくわく活動支援事業

埼玉県 養護学校放課後児童クラブ事業

その他、全国各地での放課後活動支援及びレスパイト事業(活動)が、障害児の放課後活動を支えていた

鈴木敏規さんのホームページなど

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>

伊丹市(及び尼崎市周辺)では

90年代後半から、「ヴィ・リール生活支援センター」や、「地域共生スペースぷりぱ」などによる、地域生活支援活動者が、放課後及び余暇活動を担っていた。

当時は、障害児のホームヘルプ・サービスはあったが、全く使いものにならず・・・、上記の活動団体は、自費でのサービスや、「緊急一時保護者制度」(兵庫県の単独事業)を利用
(資料4,5,6)

05年の支援費制度のスタート後は、上記団体等が法人となり、ホームヘルプとしてサービス提供 ニーズは増大

伊丹市(というか、しえあーど)では、

支援費制度のホームヘルプと合わせて、預かり・宿泊を
緊急一時保護者制度で、それでも不足するサービス提供に
地域子ども教室 子どもの居場所づくり支援事業(県単事業)
を平成16年度に利用 (資料6)

平成17年度は、伊丹養護学校PTAに活動主体を移し、
「鴻池子ども教室」として実施

財源不足による支援費制度の利用抑制

伊丹市では、平成16年秋以降、それまでの支援計画による支援費支給決定から、更新時の減額決定や、新規の利用者への不支給が目立ってきた

支援費制度における上限問題や、二年続けての、ホームヘルプ単価の減額など

そういった中、放課後や長期休暇に使われるホームヘルプの代替対策として、打ち出された「タイムケア事業」

平成17年5月に、障害福祉課長から、事業委託の打診

事業委託における不安点

1. タイムケア事業は、障害児の放課後や長期休暇の対策として効果はあるのか？

既に、ホームヘルプを利用している利用者

ホームヘルプ以外にも、自己負担が低い制度がある
重度心身障害児にとっては如何なものか？

小さな市(約20万人)での実施の規模は？

2. 小学生は利用できるのか？

...に関して、伊丹市では、利用できるということになっています(養護学校に通っている小学生の家族からのニーズは高い)

児童クラブ(学童保育)も小学校6年生まで対応
養護学校から、地域の児童クラブへも通える

3. そして、単価額3000円/1回程度で、事業者が運営していただけるのか？

4. 利用負担の1000円は？

伊丹市では、放課後活動事業がなかったせいもあり、支援費等による活動が盛ん(?)に行われていた(平成15年以降)

更に、しえあーどでは、重心(重症心身障害児)といわれる方々が、中心で、そういった方々に合った事業なのかが危惧された (資料8)

結果、あるかないかでは「在るべき」

利用者サイドから見た「選択肢の拡大」

との考えで受託する

事業費 単価は3～4時間 3100円。

4～6時間 3960円。

6時間以上 5100円。

そこで、事業費単価で、事業運営をシュミレーションしてみると
(資料9,10)

なかなか難しい、支援度の高い方への事業サービス提供

そもそも、重心などといわれる方々への事業としては如何なものか?

単なる個別給付(今後の介護給付)の抑制策にはならないように

それでも利用者にとっての選択肢の拡大は必要?

事業の在り方、作り方に工夫があれば?

伊丹市障害者タイムケア事業が、7月25日に、
「ヘルプゆう」と「しえあーど」にて事業開始となる

検討(というか、すったもんだ)の末、3対1対応が困難な方には、支援費の支給ということで事業スタートとりました。

私の個人的な考えとしては、

「ないよりはあった方がいい」

「事業としての市町村の在り方が問われる」

「障害福祉のみでなく、教育委員会や地域と共に」

伊丹市障害児タイムケア事業の概要

委託事業所は二箇所

ヘルプゆう(社会福祉法人杉の子)

しえあーど(有限会社)

療育手帳所持者 ヘルプゆう

療育手帳・身障手帳所持者 しえあーど

マン・ツー・マン対応か3対1対応かを、窓口対応職員が聞き取り記入用紙で調査、ケースワーカー、家庭児童相談員、事業者で決定する

マン・ツー・マン対応の人は、支援費支給(移動介護12時間)/家庭訪問でワーカーが説明 登録一覧表を事業者に渡す

決定通知書が障害福祉課から届いたら日程調整を事業者と利用者で行う 利用予定表を事業者から障害福祉課・伊丹養護学校へ提出

対象者 中高生等(小学生も含む、ただし児童クラブ優先)

事業内容

利用時間 夏休みなど...9:00 ~ 15:00

平日.....13:00 ~ 18:00

送迎 開始時と終了時のみ行う

利用限度児童数 ヘルプゆう6名 しえあーど3名

利用教室 しえあーど ことばの教室
ヘルプゆう アクティブ・ルーム

週5日制 実施日は事業者、障害福祉課、伊丹養護学校
で、毎月の会議で決定 朝7時に警報が出た際には中止

翌月10日までに、事業者は利用記録表、実績報告書、
請求書を障害福祉課へ提出

保険 市長会賠償保険 事業者保険 学校災害賠償保険

伊丹市障害児タイムケア事業 8/12現在

登録者総数 58名(キャンセル2名)

ヘルプゆう 42名(支援費対応14名)

しえあーど 14名(支援費対応9名)

男性 45名 女性 11名

養護学校 25名 地域の学校 31名

学年 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3
4名 3名 2名 4名 6名 4名 6名 11名 6名

高1 高2 高3 障害程度

4名 4名 2名 A = 42名 B1 = 7名 B2 = 7名

平成17年度障害児タイムケア事業の実施結果(11月段階)

及び、18年度の取り組み課題検討項目 障害福祉課

登録者総数 67名

(タイムケア対象27,支援費対象23,登録希望者15,キャンセル2)

要綱

対象者として、小学生の学年の制限

空き教室の確保 送迎問題 利用時間

長期休暇時期の実施時間 事業委託者の縮小

職員の配置基準

委託料 3～4時間 3100円 4～6時間 3960円 6時間以上 5100円

重度の問題 送迎の問題 加算

その他 ボランティア,教職員との連携

実績内容（夏休み）

開始と同時に起こった重度心身障害児といわれる方々への問題（資料11、12）

知的障害児といわれる方々への事業提供は
ヘルプゆうさん（資料13）

利用者層が広範(小学2年～高校3年)

送迎箇所の分散問題(二学期以降更に問題)

就学時間の問題 活動場所の問題

課題 (夏休み・ヘルプゆうさんより 資料13)

事業を行っていく上での個別対応者への対応

個別対応の要否決定の過程

要綱の目的及び内容との整合性の確保

「個別対応決定の有無にかかわらず、手厚い対応が必要と考えられる自閉症児が多い。」

「利用者への適切な対応をはかるためには、利用者個々の勘案は重要事項であり、それに基づいた職員体制が必要と考える。」

実績内容 10月まで

しえあーど対応(重複障害児さん)は、ほとんどが個別対応となり、事業化できていない 重度・重複児への対応課題
(資料14)

ヘルプゆう対応(知的障害児さん)

事業ベースとしての収支 (資料15)

しかし、事業維持は支援費収入による

明らかになる支援度の高い方へのサービス提供の在り方
タイムケアとしての事業維持の方法は?

活動のまとめと今後

(資料17,18)

障害児の放課後・長期休暇に対する意義ある事業

需要は高く、活動内容にも概ね良好的(?)

支援度の高い方への事業提供の在り方

自立支援法における明確な位置づけ

地域生活支援事業

1日あたりの利用定数の問題...実態とはそぐわない

利用頻度 レギュラー利用の有無

実質的なタイムケア利用者が少ない

活動場所の固定は?

検討課題(見直し案・ヘルプゆう資料18より)

個別給付(介護給付)が受けられない方への事業提供の在り方
利用者への支援度が勘案された委託費が必要

対人関係(コミュニケーション等)や行動のコントロール
利用者の健全育成及び、家人の就労を含めた家庭介護支援の強化

利用時間による単価設定 + 支援度によるものを加味

基準額は現行の移動介護(介護なし)単価とする

区分1単価を基準に、区分2は1の75%、3は50%とする

8時間以上の時間設定を新設する

伊丹市では、昨年度にモデル事業として、「障害児タイムケア・事業」が実施されるという決定がされ、今年7月から実施開始となりました。

障害児といわれる方々の活動保障、家族介護支援(就労支援)ということで、意義のある事業だと思います。

ただ、多様な方々のニーズに対応するには、その視点が、制度・法に向く量が多くなるということでは問題があると思います。

タイムケア事業・・・、これも、当人の暮らしを支えるツールのひとつであって、全てではないと思います。

そういう点では、当人が選べる(事業者サイドから言うと、「選ばれる」)サービスとして、きちりとした位置づけとなるようなシステム創りが必要かと思います。

障害者自立支援法案における地域支援事業の在り方を含め、市町村の姿勢は、これまで以上に間違いなく問われるものだと思います。

総合的な自立支援システムの構築

市町村

介護給付

- ・居宅介護
 - ・重度訪問介護
 - ・行動援護
 - ・療養介護
 - ・生活介護
 - ・児童デイサービス
 - ・短期入所
 - ・重度障害者等包括支援
 - ・共同生活介護
 - ・施設入所支援
- 等

自立支援給付

訓練等給付

- ・自立訓練(機能・生活)
 - ・就労移行支援
 - ・就労継続支援
 - ・共同生活援助
- 等

障害者・児

自立支援医療

- ・(旧)更生医療
- ・(旧)育成医療
- ・(旧)精神通院公費

補装具

地域生活支援事業

- ・相談支援
 - ・移動支援
 - ・居住支援
 - ・コミュニケーション支援、日常生活用具
 - ・地域活動支援
- 等

支援

- ・広域支援
 - ・人材育成
- 等

都道府県

まとめ?

まずは、地域社会資源としての位置づけ
選択肢のひとつとして
自らが選べる事業へ

当人支援の視点として
事業体制の整備
市としての個別給付(介護給付)及び事業の在り方

市内各機関(関係者)の連携
広域でのネットワーク 情報共有

MEMO・・・

参考

[みっくす 神戸市障害児・者の放課後を考える会](#)

<http://www5.ocn.ne.jp/~mixkoube/>

[障害児を対象にした放課後・休日活動 全国訪問記](#)

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>

[障害のある子どもの放課後保障全国連絡会](#)

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>

[全国障害者問題研究会](#)

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>

[放課後の障害児](#)

<http://www.wakuwaku.ne.jp/hope/hokago/>

[地域生活を考えよーかい](#)

<http://www.kangaeyo-kai.net/index.html>